

学習指導要領		世田谷総合高校 学カスタンダード
A 話すこと・聞くこと	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>論理的に話すこと、聞くことができる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 読解学習などにおいて、自分の解答の理由を説明できる。また、その根拠を具体的に教材文中に指摘できる。 自分の考えを検討し、改善するために、他の生徒や教員の意見を参考にできる。 <p>何のために話すのか、目的や場を理解して話せる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の質問や発表において、問われている形式に即して発言、発表できる。 <p>その場の状況にふさわしい態度で話が聞ける。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中に教員や他の生徒の話を、注意深く聞き続けることができる。 <p>課題解決のために、他人の意見を尊重して話し合うことができる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題に向けた討論の中で、自分と異なる意見にも耳を傾ける態度をもてる。 グループの話し合いなどで、全体の進行を意識して参加できる。 <p>自分の発表のしかたや話し合いのしかたについて、ふり返り、改善目標をもてる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表や話し合いの後の感想で、そのやり方についてふり返り、「今後はこうしたい」などの改善目標をことばにできる。

学習指導要領		世田谷総合高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。 《具体的な設定例》 ・ 自分自身の体験や考えたこと、身の回りのことなどから目的に応じて題材を選び、材料を収集したり選択したりすることができる。 ・ 常体と敬体を相手や目的に応じて使い分けることができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	論理の構成や展開のしかたについて知り、自分の考えをその根拠と結び付けて文章にすることができる。 《具体的な設定例》 ・ 「序論—本論—結論」、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の組み立て方や進め方を取り入れて、600～800字程度の文章を書くことができる。 ・ 論拠に基づいて、自分の考えをまとめることができる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	説明や描写を使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の仕方を書くことができる。 《具体的な設定例》 ・ 事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的に説明したりすることができる。 ・ 情景や人物、心情などを、表現技法を用いて、読み手が想像しやすいように描写することができる。
	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	自他の文章への評価を通して、自分の表現に生かし、書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。 《具体的な設定例》 ・ 発想の豊かさや論の構成・展開の仕方など、良い点・直すべき点を指摘することができる。
	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	【現代文】 文章の表現技法や語句の使い方の工夫の効果を読

学習指導要領	世田谷総合高校 学カスタンダード
<p>C 読むこと</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p>	<p>み取ることが出来る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩表現の内容をとらえることができる。 ・ 文章中のキーワードを指摘し、文章のテーマをとらえることができる。 ・ 小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱・朗読などを通して味わうことができる。 <p>【古典】</p> <p>比較的長く平易な文章について、文章の特色や文体を理解し、表現技法や語句の使い方を理解することが出来る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の内容や表現技法を踏まえた音読や朗読ができる。 ・ ジャンルの違いや特質、それぞれの代表的な作品について説明することができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の内容や句法などの表現技法を踏まえた音読や朗読ができる。 ・ 詩の形態や押韻を指摘し、対句について説明できる。 <p>【現代文】</p> <p>語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを読み取ったり、指定された字数で要約したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章中のキーワード、キーセンテンスをとらえて全体の内容をまとめることができる。 ・ 文章中の指示語の内容や接続詞の働きを理解して読むことができる。 <p>【古典】</p> <p>様々な文章を、文語のきまりや訓読のきまりに従って、語句や表現に即して読み取り、内容を説明できる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用言、基本的な助詞、基本的な助動詞（「ず」「け

学習指導要領	世田谷総合高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>り」「なり」など)、係り結び、和歌の修辞などが理解できる。</p> <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解することができる。 <p>【現代文】</p> <p>登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方をとらえることができる。</p> <p>情景描写や風景描写を鮮やかにイメージすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>芥川龍之介『羅生門』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心理の変化やその過程を読み取り、説明できる。 ・作者の意図を十分に読み取り、現代での意味を考察することができる。 <p>【古典】</p> <p>様々な文章を、文語のきまりや訓読のきまりに従って、語句や表現に即して読み取り、内容を説明できる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <p>『竹取物語』『芥川』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 ・和歌に込められた心情を理解する。 <p>漢文</p> <p>漢詩や史伝などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描かれた人物、場面、時代や場所、状況、出来事、情景を読み取ることができる。
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の主張をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ることができる。 ・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋をとらえることができる。

学習指導要領	世田谷総合高校 学カスタンダード
<p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を指摘することができる。 ・書き手の主張や意図を読み取ることができる。 <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な形態や幅広い内容・分野の本や文章を、書店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。 ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて活用することができる。 <p>日本の伝統的な言語文化について主要な事柄を知り、また外国の文化の影響を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集（万葉・古今・新古今）、歌物語などについて理解する。 ・主要な古典知識や価値観（月の異名、十二支、結婚観や宗教観など）について理解する。 ・中国の文学や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）について理解する。 <p>基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、用言の活用、基本的な助動詞（「ず」「けり」「なり」など）、基本的な助詞（「ば」など）の意味・用法、係り結び、和歌の修辞などを理解する。 ・訓点や基本的な再読文字（未、将など）・基本的な置き字・句法について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。

学習指導要領	世田谷総合高校 学カスタンダード
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>【現代文】 語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて主要な事柄を理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について主要な事柄を認識し、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の主語・述語や修飾、被修飾の関係などを説明できる。 ・和語、漢語、外来語の区別ができ、効果の違いを知る。 ・言語の主要な機能（認識、伝達、思考、想像など）を理解する。 <p>【古典】 言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。 ・基本的な古今異義語（うつくし、をかしなど）の意味の違いを知る。 <p>【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて主要な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分を理解し、照応関係に注意して文を書くことができる。 ・難易度が中程度の文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 <p>【古典】 古語辞典や漢和辞典を活用し、基本的な古語や漢語の意味を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書で取り上げられている、基本的な古語（遊び、いらふ、ありがたし、やがてなど）40字程度の意味を理解する。 ・教科書に取り上げられている、基礎的な漢語（不、使、也、欲、乃など）20語程度の意味を理解する。

学習指導要領	世田谷総合高校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字1006字を含む1600字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>

